

愛寿会だより

6 月号
第 192 号
平成 27 年
6 月 10 日発行



平成 27 年 5 月 22 日（金）に開催された理事会・評議員会の様子

第二〇四回理事会 第四十四回評議員会 が開催されました

この理事会・評議員会は、例年五月に「定例会」として開催され、前年度の事業報告並びに、決算報告を主な内容とするものです。

平成二十七年五月二十二日（金）午後二時から、第二〇四回理事会、並びに第四十四回評議員会が開催され、平成二十六年度「事業報告」「決算報告」が行われました。

一、事業報告

■ 愛 寿 会

初めに、法人事務局から本年度事業を総括して、主要十項目の実施内容のあらましが報告されました。

（一）第二仁生園 隣接調整池の改修工事

懸案となっていた雨水調整池の改修工事が完成しました。

（二）愛寿会役員等の任期満了に伴う選任・再任

本会役員・評議員の任期が満了となりましたが、皆さん再任されています。

（三）恒例の夏まつり事業の開催

恒例の夏まつりが開催されました。

（四）利用者様の送迎用車輛の整備事業の実施

デイサービスセンター並びにショートステイセンターに整備されています。

（五）入所者 合同敬老会の開催

入所者が一堂に会しての合同敬老会を開催しました。

（六）仁生園二号館・ボイラー設備の更新事業

給湯用・暖房用二台のボイラーを更新しました。

（七）衆議院選・知事選の不在者投票の実施

昨年度から外部立会人の管理のもと、不在者投票が行われました。

（八）介護福祉士等の資格取得講習の実施
介護福祉士四名・ケアマネージャー二名の合格者を獲得しました。

（九）従来型個室に係る過誤返戻事務の終結
過誤返戻処理が終了しています。

（十）研究委員会集録の取り纏め

研究委員会集録第八号を発行しました。
特別養護老人ホーム（一）内は前年度

（一）施設利用率 九五・九% 「九七・五%」

（二）平均介護度 三・八 「三・六」

（三）年齢構成

四十歳代 一名 「一名」

六十歳代 三名 「二名」

七十歳代 十五名 「十一名」

八十歳代 五十三名 「六十名」

九十歳代 五十名 「五十三名」

百歳以上 八名 「八名」

（四）看取り介護

退所 三十六名 「三十五名」

うち、看取り介護 二十二名 「二十九名」

（五）入所申込等

入所待機者 五百十四名「五百三十八名」

新規申込者 百十七名「百十五名」

■ 第二仁生園 次の五項目を課題として取り組みました。

（一）生活支援サービスの質の向上

（二）安心・安全の確保

（三）利用者の日中活動（生活）の充実

（四）計画相談支援事業の充実

（五）共同募金の受配に係る事業の実施

事業活動計算書

(自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日) (単位:千円)

勘定科目		当年度決算	前年度決算	増 減
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	672,623	682,825	△10,202
	障害福祉サービス等事業収益	152,962	142,228	10,734
	上記以外のサービス活動収益	1,279	2,372	△1,093
	サービス活動収益計(1)	826,864	827,425	△561
	費用			
	人件費	511,500	507,779	3,721
	事業費	137,778	136,692	1,086
	事務費	79,280	75,597	3,683
	減価償却費	89,500	94,107	△4,607
国庫補助金等特別積立金取崩額	△34,193	△35,637	1,444	
サービス活動費用計(2)	783,865	778,538	5,327	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	42,999	48,887	△5,888	
活動外	サービス活動外収益計(4)	4,976	7,302	△2,326
	サービス活動外費用計(5)	5,856	4,051	1,805
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△880	3,251	△4,131
経常増減差額(7)=(3)+(6)	42,119	52,138	△10,019	
特別	特別収益計(8)	63,852	112,000	△48,148
	特別費用計(9)	72,196	36,292	35,904
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△8,344	75,708	△84,052
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	33,775	127,846	△94,071	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	856,659	763,813	92,846
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	890,434	891,659	△1,225
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	327,500	0	327,500
	その他の積立金積立額(16)	400,000	35,000	365,000
	次期繰越活動増減(17) (17)=(13)+(14)+(15)-(16)	817,934	856,659	△38,725

□ 貸借対照表で見る指標

【安定性】

- 流動比率 — 流動資産÷流動負債×100%=573.5%
※ 一般には、150%以上であれば「良」とされているものです。
当法人では「建設積立金」「人件費積立金」に積立預金を積立しているため、比較的には低い数値となっています。
- 純資産比率 — 純資産÷資産総額×100%=87.6%
※ この比率が高いとき、経営は「安定傾向」にあるとされています。
- 固定長期適合率 — 固定資産÷(純資産+固定負債)×100%=82.9%
※ 当法人では平均的な数値を維持しています。固定資産を、主に「純資産」と「固定負債」で賄っていることが分かります。

二、決算報告
社会福祉法人の決算報告は、法人が作成する財務諸表(資金収支計算書、事業活動計算書及び、貸借対照表)等に基づいて行われます。
これらの帳票は、愛寿会ホームページなどで公表することが義務付けられているものです。
本年度のサービス活動収益は、施設の利用率低迷(前頁参照)から「介護保険事業収益」(仁生園)が、前年比九十八・五%と一千万円余り減少しました。一方サービス活動費用(減価償却費を除く)は、消費税増税がありました。○・七%の増加に留まっています。

□ 事業活動計算書で見る指標

【収益性】経常活動増減差額率

$$\text{経常増減差額} \div \text{サービス活動(外)収益} \times 100(\%) = \text{平成 26 年度}$$

$$42,119 \div 831,840 \times 100(\%) = 5.1\%$$

$$\text{平成 25 年度}$$

$$52,138 \div 834,727 \times 100(\%) = 6.2\%$$

※ 一般に 7.0%程度が平均値とされています。

【生産性】人件費率

$$\text{人件費} \div \text{サービス活動収益} \times 100(\%) = \text{平成 26 年度}$$

$$511,500 \div 826,864 \times 100(\%) = 61.9\%$$

$$\text{平成 25 年度}$$

$$507,779 \div 827,425 \times 100(\%) = 61.4\%$$

※ この指標が 75%を超えると、経常増減差額が「△」となる場合が多いとされています。

貸借対照表

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増 減	勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	512,950	574,841	△61,891	流動負債	89,445	96,465	7,020
現金預金	366,354	428,933	△62,579	事業未払金	22,460	54,222	△31,762
事業未収金	120,045	117,240	2,805	その他の未払金	26,594	24	26,570
未収金	26,211	26,344	△133	1年以内返済予定設備資金借入金	25,340	25,340	0
上記以外の流動資産	340	2,324	△1,984	1年以内返済予定リース債務	6,879	4,866	2,013
固定資産				上記以外の流動負債	8,172	12,013	△3,841
基本財産	1,519,202	1,589,810	△70,408	固定負債	228,636	248,639	△20,003
土地	62,959	62,959	0	設備資金借入金	179,275	204,615	△25,340
建物	1,456,243	1,526,651	△70,408	リース債務	24,179	22,167	2,012
その他の固定資産	540,621	435,246	105,375	退職給付引当金	25,182	21,857	3,325
建物	9,222	4,881	4,341	負債の部合計	318,081	345,104	△27,023
構築物	38,555	23,753	14,802	純 資 産 の 部			
車輛運搬具	9,488	7,964	1,524	基本金	413,238	413,238	0
器具及び備品	22,600	18,631	3,969	国庫補助金等特別積立金	623,520	657,196	△33,676
有形リース資産	26,033	27,017	△984	その他の積立金	400,000	327,500	72,500
退職給付引当資産	25,182	21,857	3,325	次期繰越活動増減差額	817,934	856,659	△38,725
その他の積立資産	400,000	327,500	72,500	(うち、当期活動増減差額)	33,775	127,846	△94,071
上記以外の固定資産	9,541	3,643	5,898	純資産の部合計	2,254,692	2,254,593	99
資産の部合計	2,572,773	2,599,697	△26,924	負債及び純資産の部合計	2,572,773	2,599,697	△26,924

〽 興石松枝様 慶祝訪問 〽



五月十九日(火)、二日前に百歳を迎えられた興石松枝様のお祝いに北杜市の職員の方々が来園されました。

駆け付けていただいた息子様ご夫婦によると、職員のご主人を陰で支え、ほとんど病気などせず五人の子供を育てたそうです。職員にお礼の言葉をかけて下さる、とても素敵で大先輩です。

〽 野点 〽

五月六日(水)、二階「喫茶いこい」前のフロアにて野点が行われました。昨年より室内で開催しておりますが、参加される方も年々増えています。

季節にちなんだ花やBGMもあり、ゆったりとした雰囲気の中、抹茶や和菓子をいただき、他のフロアの方と談笑される方や、利用者様の目の前で抹茶を点でると、「ぜひ、やってみたい」と一緒にやっている方もいらつしやいました。

窓から見える中庭の景色を楽しみながら「おいしい」「また来年も来たい」という声もありました。顔なじみの職員の着物姿にも大変喜ばれ、記念写真に写る利用者様の笑顔がとても素晴らしく、思い出の行事となりました。

〽 デイサービスセンター 〽

― 野点 ・ ペチュニア鉢植え ―

五月晴れの明るい陽射しの中、この時期の恒例行事となっております。野点が行われました。中庭に赤い日よけの傘が立てられ、木漏れ日と満開の八重桜の下、利用者の皆様がつたりとした気持ちで、職員が点てたお茶とお菓子を楽しまれていました。



また、五月二十三日(土)、土に触れ、色とりどりのペチュニアと花の香りを観賞しながら、仁生園の正面玄関とデイサービスの玄関で来客者の皆様の気持ちよくお出迎えするためにペチュニアの鉢植えを行いました。



普段、土や花に触れる機会の少ない皆様も、土や綺麗な花を触ることにより自然と笑顔がこぼれておりました。



〽 グループホーム「やすらぎ」 〽

小海線の旅 〽

五月三十日(土)、甲斐小泉駅から小海駅まで小海線の旅を楽しんで来ました。昼食で立ち寄った小海駅前のお店の方は今や顔なじみとなり、一品サービスしていただきました。

タクシーの運転手さんやパン屋さん、小海町の皆様のやさしさに触れ、帰りの電車の中でも乗客の方々と知り合いになり、グループホームの高齢者の方が電車に乗って出掛けられることに、みなさん感動されていました。



〽 天理教北巨摩支部奉仕団様 来園 〽



毎年恒例になりました、天理教北巨摩支部奉仕団の皆様が来園されました。中庭の落ち葉かき、草取りは男性が中心となり、女性や子供さんは窓硝子拭きとゴミ捨てをしていただきました。

二時間休みなく働いて下さり、見違えるほど綺麗になりました。

